Vol.34　ギターでベースラインを弾いてみる　～その 2～

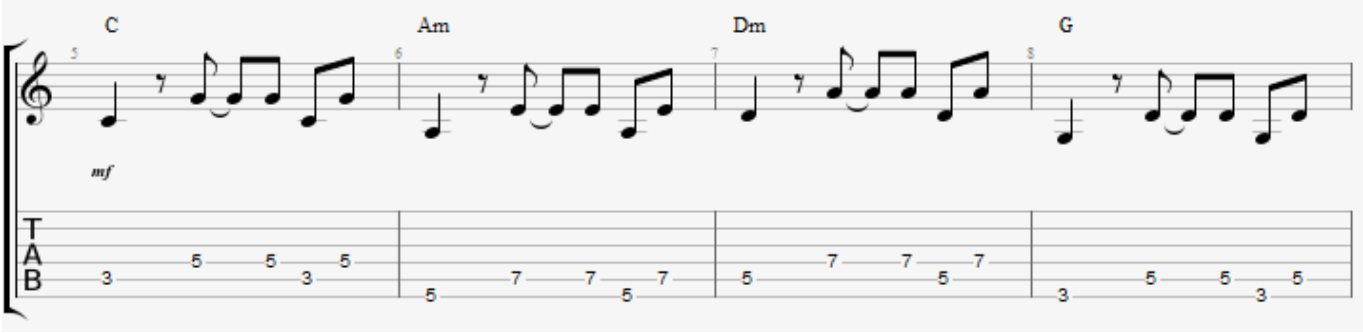
『10 分トレ』vol.34、始めていきましょう。

引き続き、ベースラインについて学んでいきます。

前回は、ほぼルート音のみのラインを見てきたので、今回はもう一つの代表的なパターンである、1 度＋5 度をやっていこうと思います。

進行は、前と同じく C キーの 1-6-2-5 で。
それでは、譜例は以下になります。

譜例 1



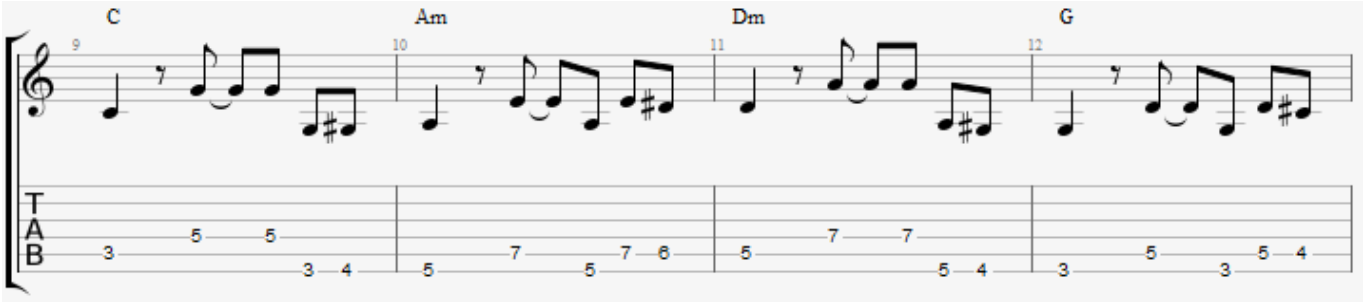
これだけを聴くと、ひと昔前の、カントリールーツのロックの様な響きになっていますね。

このテキストでは、ギターのみで考えた譜例になっているので、どちらかと言えば「よく使う音」を確認する意味合いで譜例を見て下さい。

前回もお話ししましたが、実際のベースラインは、他パートや楽曲全体のリズムフィールなどと関連させて考えていく事になります。

次に、譜例 1 と同じ音使いで、次のコードに対するアプローチを加えたものを弾いてみましょう。

譜例 2



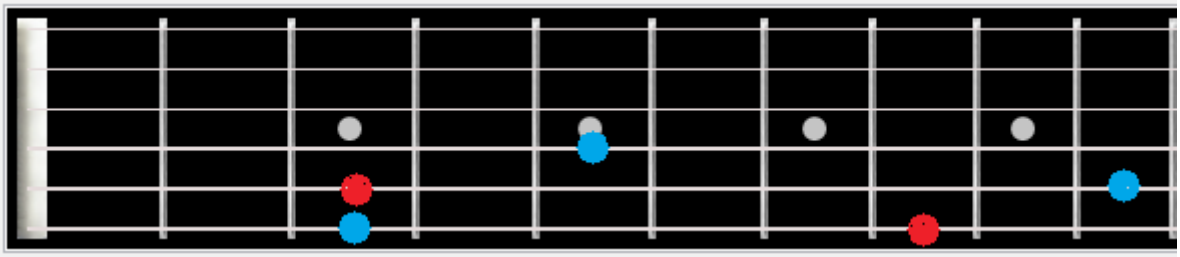
Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

こちらの方が進行感やスムーズさが UP している感じがしますね。

とは言え、譜例 1 と 2 で、どちらの方が良い、と言うモノではないので、その辺りは曲に合わせて臨機応変に対応していきます。

今回、特に覚えておきたいのは、定番のベースライン(のパターン)もそうですが、ルート(1 度)に大しての 5 度の位置です。

※1 度(赤丸)に対しての 5 度(青丸)の位置



他に配布している教材でも同じ様な事はやっていますが、ここで再度確認しておきましょう。

それでは、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved